

採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進
課題名：生命科学研究独立アプレンティスプログラム
代表者名：鷺田 清一
所属機関名：大阪大学

コメント

「独立研究見習い」、「独立させるが孤立させない」、「競争的であるが安心して研究に専念できる環境」、「帰国して研究室を立ち上げる研究者を優先」などのコンセプトを用いることによって、対象とする人材および育成方法が明確化している点が評価された。テニユア・トラック制度を海外で研究中の若手研究者の受け入れ制度として活用するユニークな提案であり、波及効果が期待できる。また、帰朝した研究者のスタートアップ支援にも十分な配慮をしている点も評価できる。

なお、平成 18 年度に同じプログラムで採択された課題との連携や経験を生かし、より効果的な人材養成システムを構築し、海外留学研究者を支援する今回の取り組みをプログラム終了後も継続して行うなど、大学全体の改革に繋げていただきたい。また、親講座の影響が若手研究者の独立性を損なうことがないように十分配慮する必要がある。